信州大学創立６０周年記念事業

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

信州大学学士山岳会６０周年記念

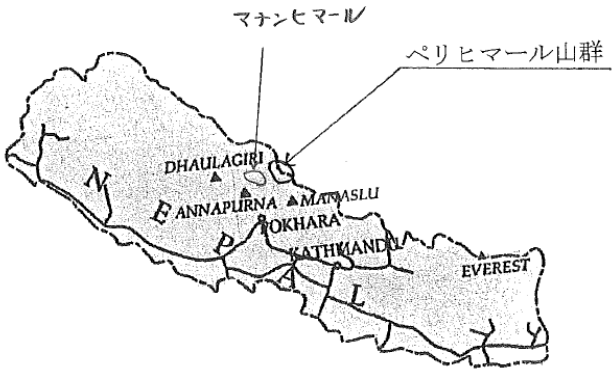
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

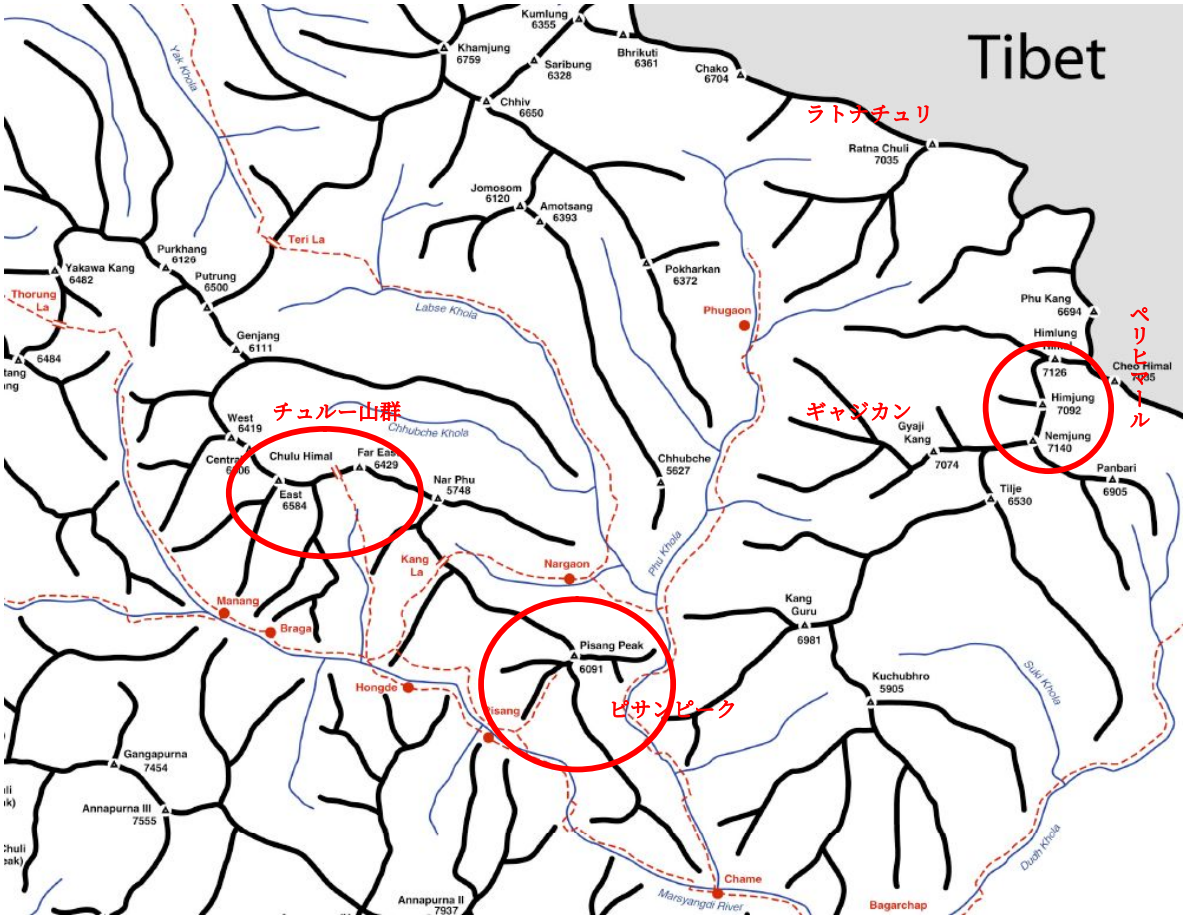
ペリヒマール登山隊計画書

信 州 大 学 山 岳 会

信州大学学士山岳会

概念図





出典　Elizabeth Hawley　[HIMALAYAN DATABASE]　付録地図より部分参照

第一チーム　ペリヒマール登山隊計画書

１．目的

過去に当山岳会が初登頂したギャジカン（７０３８m）とラトナチュリ（７０３５m）も属するペリヒマール山域において、我々が登っていないピークに挑戦することにした。多様な登攀形式をトライすることにしており、特にネムジュン（７１３９m）北西壁の初登攀と、ヒムジュン（７０９２m）南壁初登頂からヒムルンヒマール（７１２６m）への初縦走という新しい試みを行なう。今回の遠征により我々が持つこの地域のデーターは広がることになり、日本登山界に貢献できるものと考えている。

２．日時　　2009 年９月６日から 11 月 11 日前後

３．メンバー　　８名

隊長　田辺　治（農・８４卒）、　副隊長　滝沢辰洋（繊・助教・８４卒）

隊員　藤松太一（教・７４卒）、角谷道弘（農・８８卒、）花谷泰広（教・０１卒）、
大木信介（人文・０２卒）、江川　信（理・2 年生）、
花谷裕子（学習院大学山桜会）
ただし縦走とネムジュン登攀は田辺・角谷・花谷・大木で行う。
BC スタッフ　リエゾン２名、サーダー1 名、コック１名、
キッチンボーイ１名、ローカルキッチン２名

４．日程　2009 年 9 月 6 日　日本出

9 月 10 日　カトマンズ出
9 月 19 日　BC 入り
11 月　1 日　BC 出　(滝沢・江川はヒムルンヒマール終了後帰国)
11 月　8 日　カトマンズ着
11 月 13 日　帰国

５．登山概要

〇ヒムルンヒマール(7126m) 下部新ルートからの登頂

BC(4900m)建設後、全員でヒムルンヒマール西稜下部新ルートのルート工作と荷揚げ、高度順応活動を行う。極地法として C1(5800m 付近)、C2（6400m 付近）、必要に応じて仮キャンプを出す。ルート上赤旗多数、クレバスにルート工作少々必要。行動中は常にコンテロープを使用し、クレバス注意。雪崩にも注意必要。アタックはなるべく全員で行う。登山終了後滝沢・江川は現地スタッフ１名とともに下山、帰国する。

〇ネムジュン(7139m) 北西壁の初登攀

ある程度順応が出来てきたら、ヒムルンヒマールと平行してパンガリ氷河（プーコーラ右俣氷河）のアイスフォールのルート工作を行う。6000m プラトーまでのルートを確保したら、チャンスを見てネムジュン(7139m)北西壁の初登攀にトライする。標高差 960m の壁。アルパインスタイルでの登攀を目指す。

○　ヒムジュン(7092m) 南壁初登攀からヒムルンヒマールへの初縦走

ヒマラヤ登山で最も難しい形態は縦走登山である。これを成し遂げるには、ルートをこなす技術と体力、完璧な順応とルートコンディション、そして天候と、全ての条件がそろわなくてはならない。ヒムジュン南壁は標高差 900m の壁。ヒムジュンから縦走距離は水平距離２Km、最低コルへの下降(300m)と、続くこぶの通過が問題である。ヒムルンヒマールからは西稜ルートを下降する。アルパインスタイルでの登攀を目指す。

６．費用概算

〇国内費	渡航費	175.000×8	1.400.000
	輸送費 EMS		100.000
	装備費		350.000
	食料費		160.000
	医薬品費		50.000
	国内合宿費		200.000
	事務費等		100.000
	小計		2.360.000
〇国外費			
（１$1１０円）	登山料	1.400$×２	308.000
	エージェント料	3.000$	330.000
	人件費（ﾘｴｿﾞﾝ２名・ｽﾀｯﾌ５名・ﾎﾟｰﾀｰ行き 60 名帰り 25 名）		
		25.870$	2.845.700
	輸送費	700$	77.000
	キャラバン費		180.000
	装備費		400.000
	食料費		280.000
	滞在費		350.000
	ビザ・エントリーパーミット		90.000
	現地スタッフ保険		100.000
	無線機使用申請料		40.000
	通信費その他		300.000
	予備費（あまったら報告書作成費へ）		339.300
	小 計		5.640.000
〇合計			8.000.000

７．隊員名簿

田辺　治　　隊長（渉外、タクティクス担当）

生年月日　　1961 年 1 月 4 日生まれ

登山経歴

1982 年　　秋　ｶﾞﾈｯｼｭﾋﾏｰﾙⅢ峰（現Ⅱ峰）(7111m、ﾈﾊﾟｰﾙ)
1987 年　　秋　ﾗﾌﾟﾁｪｶﾝ（7367m、ﾁﾍﾞｯﾄ）初登頂
1989 年　　秋　ﾁｮﾓﾗﾝﾏ（8848m、ﾁﾍﾞｯﾄ）北壁
1990 年　　夏　ｶﾞｯｼｬﾌﾞﾙﾑⅡ峰（8035m、ﾊﾟｷｽﾀﾝ）登頂
1991 年　　春　ｶﾝﾁｪﾝｼﾞｭﾝｶﾞ（8586m、ｲﾝﾄﾞ）北東稜
1991 年　　夏　ｺﾙｼﾞｪﾈﾌｽｶﾔ(7105m)、ﾚｰﾆﾝ（7134m）、ｺﾐｭﾆｽﾞﾑ（7495m、旧ソ連）隊長、3 座登頂
1991～2 年冬　ｴﾍﾞﾚｽﾄ（8848m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南西壁
1993 年　　夏　ﾌﾞﾛｰﾄﾞﾋﾟｰｸ（8047m、ﾊﾟｷｽﾀﾝ）隊長、登頂
1993 年　　秋　ﾁｮｰｵﾕｰ（8201m、ﾁﾍﾞｯﾄ）登頂
1993 年　　冬　ｴﾍﾞﾚｽﾄ（8848m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南西壁　冬季初登攀　ﾊｯﾄﾄﾘｯｸ
1994 年　　秋　ｷﾞｬｼﾞｶﾝ（7038m、ﾈﾊﾟｰﾙ）登攀隊長、初登頂
1995 年　　春　ﾏｶﾙｰ（8463m、ﾁﾍﾞｯﾄ）東稜から北西稜、初登攀
1996 年　　秋　ﾗﾄﾅﾁｭﾘ（7035m、ﾈﾊﾟｰﾙ）登攀隊長、初登頂
1997 年　　夏　K2（8611m、ﾊﾟｷｽﾀﾝ）西稜から西壁、隊長、初登攀
1998 年　　春　ｶﾝﾁｪﾝｼﾞｭﾝｶﾞ（8586m、ﾈﾊﾟｰﾙ）北壁
2000 年　　春　ｶﾞﾈｯｼｭﾋﾏｰﾙⅡ峰(7111m、ﾈﾊﾟｰﾙ)登攀隊長
2001 年　　秋 ﾁｮｰｵﾕｰ（8201m、ﾁﾍﾞｯﾄ）隊長､登頂
2001 年　　冬 ﾛｰﾂｪ（8516m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南壁､隊長
2002 年　　夏 ｶﾞｯｼｬﾌﾞﾙﾑⅠ峰（8068m、ﾊﾟｷｽﾀﾝ）登頂
2003 年　　秋 ｼｼｬﾊﾟﾝﾏ中央峰（8008m、ﾁﾍﾞｯﾄ）隊長､登頂
2003 年　　冬 ﾛｰﾂｪ（8516m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南壁､隊長
2005 年　　夏 ﾅﾝｶﾞﾊﾟﾙﾊﾞｯﾄ(8126m、ﾊﾟｷｽﾀﾝ)登頂
2006 年　　秋 ｼｼｬﾊﾟﾝﾏ主峰（8027m、ﾁﾍﾞｯﾄ）隊長､登頂
2006 年　　冬 ﾛｰﾂｪ（8516m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南壁､隊長、冬季初完登西峰登頂

滝沢 辰洋　　副隊長(記録担当)

生年月日　　1961 年 11 月 16 日生まれ

登山経歴

四季を通じて日本国内の山岳を経験

藤松　太一　(会計、医療、環境担当)

生年月日　1950 年 9 月 9 日生まれ

登山経歴

1973 年　夏 ﾌﾞﾗｯｸﾊﾞｰﾝ(5036m､ｱﾗｽｶ) 登頂

1978 年　秋 ﾆﾙｷﾞﾘ南峰(6836m､ﾈﾊﾟｰﾙ)副隊長、初登頂

1985 年　夏 ﾎﾟﾎﾟｶﾃﾍﾟﾄﾙ(5452m､ﾒｷｼｺ)登頂

1994 年　秋 ｷﾞｬｼﾞｶﾝ(7038m､ﾈﾊﾟｰﾙ)隊長、初登頂

角谷　道弘　（タクティクス担当）

生年月日　1963 年 10 月 7 日生まれ

登山経歴

1984 年　春　ｼﾝｸﾞﾁｭﾘ（ﾌﾙｰﾃｯﾄﾞﾋﾟｰｸ）（6501m、ﾈﾊﾟｰﾙ）試登

1987 年　春　ﾁｭﾙｰｲｰｽﾄ(6429m、ﾈﾊﾟｰﾙ)

1989 年　冬　ﾊﾟﾀｺﾞﾆｱ・ﾄｰﾚｽﾃﾞﾙﾊﾟｲﾈ　ﾉｰｽﾀﾜｰ（ﾁﾘ）登頂

1990 年　冬　ﾊﾟﾀｺﾞﾆｱ・ﾄｰﾚｽﾃﾞﾙﾊﾟｲﾈ　ｾﾝﾄﾗﾙﾀﾜｰ（ﾁﾘ）試登

1990 年　冬　ｱｺﾝｶｸﾞｱ（6960m、ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ）隊長、登頂

1992 年　夏　天山ﾊﾝﾃﾝｸﾞﾘ（7010m、旧ソ連）隊長、登頂

秋　ﾖｾﾐﾃ　ｴﾙｷｬﾋﾟﾀﾝ　ﾉｰｽﾞ（ｱﾒﾘｶ）　完登

1995 年　秋　ﾊﾟﾙﾁｬﾓ（6187m、ﾈﾊﾟｰﾙ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

冬　ｳｲﾙﾍﾙﾑ（4509m、ﾊﾟﾌﾟｱﾆｭｰｷﾞﾆｱ)）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

夏　ｷﾘﾏﾝｼﾞｬﾛ（5895m、ﾀﾝｻﾞﾆｱ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

1996 年　冬　ｱｺﾝｶｸﾞｱ（6960m、ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

1997 年　秋　ﾁｮｰｵﾕｰ（8201m、ﾁﾍﾞｯﾄ）隊長、無酸素登頂

1997 年　冬　ｱｺﾝｶｸﾞｱ（6960m、ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

1998 年　春　ﾊﾟﾙﾁｬﾓ（6187m、ﾈﾊﾟｰﾙ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

1999 年　春　ﾘｬﾝｶﾝｶﾝﾘ（7534m、ﾁﾍﾞｯﾄ）初登頂

2006 年　秋　ﾏﾅｽﾙ（8163m、ﾈﾊﾟｰﾙ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

春　ｴﾍﾞﾚｽﾄ（8848m、ﾈﾊﾟｰﾙ）ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

その他の欧州ガイド登頂

2000 年～2008 年　夏　(ﾌﾗﾝｽ、ｽｲｽ、ｲﾀﾘｱ)　ｶﾞｲﾄﾞ、登頂

ﾏｯﾀｰﾎﾙﾝ(4478m) 、ﾄﾞﾑ(4545m)登頂、ﾃﾞｭﾌｰﾙｼｭﾋﾟｰﾂ（4652m)、ﾉﾙﾄｴﾝﾄ(4609m)、ﾎﾟﾘｭｯｸｽ(4092m)、ｶｽﾄｰﾙ(4228m)、ｼｸﾞﾅｰﾙｸｯﾍﾟ(4556m)、ｱﾙﾌﾟﾌｰﾍﾞﾙ(4226m)、ﾂﾑｼｭﾀｲﾝｼｭﾋﾟｯﾂｴ(4563m)、ﾘﾑﾌﾟﾌｨｯｼｭﾎﾙﾝ(4199m)、ｱｲｶﾞｰ(3975m)、ﾒﾝﾋ(4099m)、ﾕﾝｸﾞﾌﾗｳ(4158m)、ｸﾞﾛｰｽﾌｨｰｼｬｰﾎﾙﾝ(4049m)、ﾓﾝﾌﾞﾗﾝ(4810m)、ﾊﾞｲｽﾐｰｽ(4023m)、ﾘｽｶﾑ(4527m)、

花谷 泰広　　(装備、食料、タクティクス担当)

生年月日　1976 年 8 月 6 日生まれ

登山経歴

1996 年　秋　ﾗﾄﾅﾁｭﾘ（7035m、ﾈﾊﾟｰﾙ）初登頂

1999 年　春　ﾏｯｷﾝﾘｰ（6194m、ｱﾗｽｶ）ｳｪｽﾄﾊﾞｯﾄﾚｽ　登頂

1999 年　夏　ｱﾙﾊﾟﾏﾖ（5947m、ﾍﾟﾙｰ）南西壁ﾌｪﾗｰﾘﾙｰﾄ完登（登頂できず）

ﾋﾟｽｺ（5752m、ﾍﾟﾙｰ）単独登頂

ﾁｮﾋﾟｶﾙｷ（6354m、ﾍﾟﾙｰ）単独登頂

ﾜｽｶﾗﾝ（6768m、ﾍﾟﾙｰ）単独登頂

1999 年　夏　太白山・華山偵察（中国）

2000 年　春　ｶﾞﾈｼｭﾋﾏｰﾙⅡ峰(7111m、ﾈﾊﾟｰﾙ)

2001年　中国・西安近郊　華山・白雲峰ﾌﾘｰｸﾗｲﾐﾝｸﾞ開拓

秋　ﾁｮｰｵﾕｰ（8201m、ﾁﾍﾞｯﾄ）登頂

冬　ﾛｰﾂｪ（8516m、ﾈﾊﾟｰﾙ）南壁

2002 年　ﾍﾟﾙｰｱﾙﾌﾟｽ　ﾄｸﾔﾗﾌ(6032m) 単独登頂

ｱﾙﾃｿﾝﾗﾌ(6025m)南東壁

ﾋﾟｽｺ(5752m)頂上よりスキー滑降

2003 年　ﾍﾟﾙｰｱﾙﾌﾟｽ　ｱﾙﾊﾟﾏﾖ(5947m)など

ﾖｰﾛｯﾊﾟｱﾙﾌﾟｽ ﾃﾞｭﾌｰﾙｼｭﾋﾟｰﾂ(4652m)など

2004 年　夏　ﾒﾙｰ(6459m､ｲﾝﾄﾞ) ｼｬｰｸｽﾌｨﾝﾙｰﾄ

2006 年　夏　ﾒﾙｰ(6459m､ｲﾝﾄﾞ) ｼｬｰｸｽﾌｨﾝﾙｰﾄ登頂

2008 年夏　ﾜﾝﾄﾞｲ南峰（6160m、ﾍﾟﾙｰ）南西ﾊﾞｯﾄﾚｽ登頂

大木 信介　　（梱包輸送、記録担当）

生年月日　1979 年 2 月 2 日生まれ

登山経歴

1999 年　春　ﾏｯｷﾝﾘｰ（6194m、ｱﾗｽｶ）ｳｪｽﾄﾊﾞｯﾄﾚｽ　登頂

1999 年　ｱﾙﾊﾟﾏﾖ(5947m、ﾍﾟﾙｰ)登頂

2001年　秋　ﾏｯﾀｰﾎﾙﾝ(4478m)北壁登頂

2002 年　夏　ｸﾞﾗﾝﾄﾞｼﾞｮﾗｽ北壁（未登）

2003 年　夏　ﾖｰﾛｯﾊﾟｱﾙﾌﾟｽで登攀

江川　信　　(装備、食料、梱包輸送担当)　　信州大学山岳会所属

生年月日　1987 年 4 月 22 日生まれ

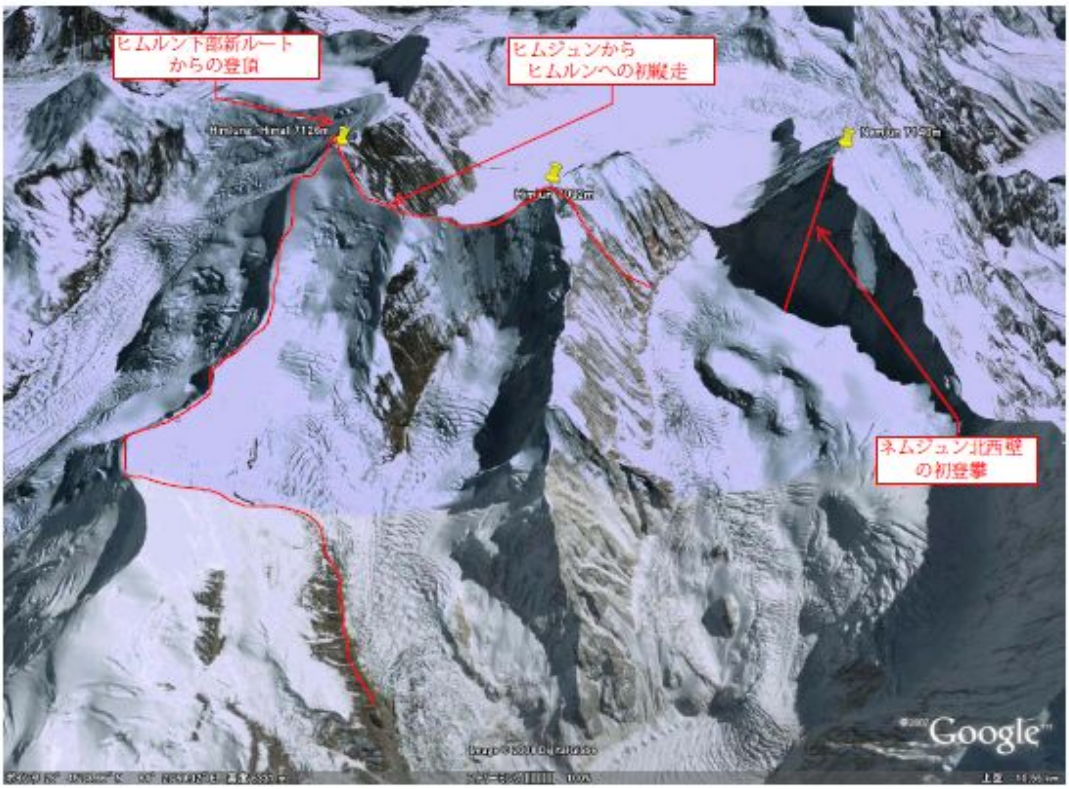
登山経歴

四季を通じて日本国内の山岳を経験

花谷裕子　　（通信情報）　学習院大学山岳部 OG　（学習院大学山桜会）

生年月日　1982 年 3 月 11 日生まれ

登山経歴　　2008 年　夏　ﾋﾟｽｺ（5752m、ﾍﾟﾙｰ）登頂

ペリヒマール全景

1.ヒムルン３座